

旧曾呂小学校校舎の活用方針について

- 1 旧曾呂小学校の校舎へ市民ギャラリーと曾呂公民館の機能を移転し、施設の整備と改修を行う

施設の老朽化とともに駐車場スペースが不足している現在の市民ギャラリーを、旧曾呂小学校の校舎へ移転し、より一層の市民の芸術・文化の振興を図る。

併せて、施設の老朽化が著しい曾呂公民館も移転し、複合的な機能を有する施設として整備・改修を実施し、多くの人々が、文化・芸術に触れあう機会と、あらゆる年代の人々が学び、交流する場を提供できる、本市の生涯学習の拠点施設として活用を図る。

- 2 曾呂小学校の歴史と記憶を後世に残す

水田三喜男氏をはじめ多くの卒業生を輩出し、これまでの長い年月にわたって、曾呂地区の中心的な場所に立地し、地域の核としての意味合いを有してきた曾呂小学校の歴史と記憶を後世に残すことに留意する。現状の校舎の造作や構造を全て改修するのではなく、曾呂の歴史のひとつのシンボルである小学校の面影を残しながら利活用を図る。

- 3 豊かな自然環境と地域資源に恵まれた曾呂地区の特性を活かす

嶺岡牧の遺構や、嶺岡林道の桜並木、登録有形文化財の旧水田家住宅などの、曾呂地区周辺の地域資源と関連づけて、曾呂及び江見地区の地域活性化に資することも視野にいたった有効な利活用を図る。

- 4 その他の利活用についての検討

ギャラリー・公民館の機能に限らず、その他の機能を併せ持つ公共施設や民間施設の誘致についても検討が必要である。